



防災カフェ ☕ 一家庭状況の変化に合わせた備え一

新年度が始まる4月は、進学や就職、人事異動などにより人の移動が活発になる時期です。転居や転出入により生活環境が変化すると、防災に対する備えにも見直しが必要になってきます。

新たな場所で生活するようになったかたは、その地域のハザードマップなどでどこにどんな危険があるのか、避難所（場所）の位置やそこに至る複数の経路などを確認してください。

生活環境に変化があった場合は、家庭の備蓄品が適切か確認してみましょう。非常食や飲料水、毛布など誰もが必要とする物のほか、常用薬や介護用品、乳幼児用品など、その人が特に必要とする物もあります。数量については、家族一人当たり一日に必要な数量×人数×3日分（できれば1週間分）で計算して必要数を確認してください。物品や数量に不足があった場合は早めに準備しましょう。また、家族としてペットを迎え入れたかたは、ペット用の備蓄も必要になります。エサやその他のペット用品の準備とともに、ペット同行避難に備えてケージで過ごせるようにするなどのしつけも大切です。

なお、家庭内備蓄を考える際は、ホームページで公開している市の備蓄状況なども参考にしてください。

災害が発生したときは電話がつながりにくくなりますが、離れて暮らすようになった家族との連絡手段には、災害用伝言ダイヤルの利用が有効です。利用方法は芦別市防災ガイドブックの裏表紙に掲載しています。使用方法が不安なかたは、事前に体験することもできます（毎月1日、15日00:00～24:00ほか）。詳しい内容は、NTT東日本のホームページでご確認ください。時には日常の家族間の連絡を、災害用伝言ダイヤル体験利用で行ってみるのも良いのではないのでしょうか。

○市の備蓄状況の確認はこちらから

<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/9514.html>



○災害用伝言ダイヤルについてはこちらから

NTT東日本ホームページ

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

電気火災を防ごう

電気は、私たちの日常生活において必要不可欠なエネルギーとして社会の隅々まで深く浸透しています。そんな身近な電気製品ですが、使用者の不注意や誤った方法により使用した場合は、火災につながるおそれがあります。電気製品を使用する際には、次のことに注意しましょう。

○電気火災を防ぐポイント

- ①使用しないときには、コンセントから抜く
- ②たこ足配線は、絶対にやらない
- ③差込みプラグに付着したほこりなどは取り除く
- ④傷んだコードは使用しない
- ⑤コードは束ねた状態で使用しない。

野火・ごみ焼きの注意喚起

雪解けが進み、枯草が露出すると、野火が発生しやすくなります。

この時季は、乾燥注意報が発令されるなど、空気が乾燥し、強い風の吹く日も多いことから、はじめは小さな火でも建物や物置に延焼し、火災につながる可能性がありますので火の取り扱いには十分注意しましょう。

また、ごみの焼却については、ごく一部の例外を除き禁止されており、厳しい罰則も適用されています。

野外での焼却は、煙、すす、悪臭により周囲の人に迷惑をかける行為となりますので、お互いが快い環境で過ごすためにも、ごみは絶対に野外で焼却せずに適正に処理しましょう。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106